



2020年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイル

コード番号 3854 URL <https://www.ill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小倉 直子 TEL 06-6292-1170

四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第3四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第3四半期	10,038	37.0	1,603	152.2	1,619	147.6	1,046	153.9
2019年7月期第3四半期	7,329	7.3	635	64.5	654	64.0	412	70.7

(注) 包括利益 2020年7月期第3四半期 1,032百万円 (136.3%) 2019年7月期第3四半期 437百万円 (69.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第3四半期	41.83	-
2019年7月期第3四半期	16.46	-

(注) 1 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第3四半期	7,807	3,570	45.7
2019年7月期	6,646	2,851	42.9

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 3,570百万円 2019年7月期 2,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	-	6.00	-	10.00	16.00
2020年7月期	-	7.00	-	-	-
2020年7月期(予想)	-	-	-	7.00	14.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年7月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,342	17.3	1,519	59.7	1,536	57.9	1,008	62.4	40.28

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

3 第3四半期連結累計期間までは、堅調に業績が推移いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大により当社グループの業績も現時点で見通すことが困難な状況であり、現時点においては開示基準を上回る水準を見込んでおらず、通期業績予想は据え置き、5-7月期の状況及び事業動向を見極めながら、今後業績予想の修正が必要となりましたら速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年7月期3Q	25,042,528株	2019年7月期	25,042,528株
② 期末自己株式数	2020年7月期3Q	4,894株	2019年7月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年7月期3Q	25,014,961株	2019年7月期3Q	25,042,535株

(注) 当社は2019年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年8月1日～2020年4月30日)におけるわが国経済は、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向等に留意が必要ではありましたが、雇用、所得環境の改善も続いており、緩やかではありませんが回復基調は続いておりました。しかし、2020年に入り、世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、国内においても、緊急事態宣言の発令等により、個人の消費は急速に減少し、雇用、所得環境等において影響が出ております。また、企業業績も新型コロナウイルス感染症の影響により、悪化しております。当社グループが属する情報サービス業界においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、ソフトウェアに対する投資において、影響が出る可能性があります。

このような状況のもと、当社グループは、ITの有効活用が必要な中堅・中小企業顧客の経営課題を解決するための商材を「リアル」と「Web」の両面から開発・提案し、顧客の企業力強化を図ることを「CROSS-OVER シナジー」戦略とし取り組んでまいりました。

「CROSS-OVER シナジー」戦略は、当社グループが提唱してきた独自の提案スタイルで、「リアル」と「Web」それぞれの商材を複合的に提案することで、顧客の業務効率と販売力強化を実現するものであり、当社グループにとって商談時の競合力を強化するだけでなく、顧客満足度も向上させるものであります。この戦略効果により、当社グループが重視するストック型ビジネス商材の販売実績が大きく伸長し、利益体質の強化が図られております。

販売実績につきましては、「リアル」面では、主力のパッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を、業種別に継続して進め、販売面でもパートナー企業との連携に加え、東京、大阪、名古屋において「アラジンオフィス」の業種別セミナーを開催し、豊富な業種別の導入事例をもとに顧客毎に最適なシステム活用方法をご提案させていただくことで、受注実績も順調に推移いたしました。収益面につきましては、2019年10月に実施された消費税率の改定や2020年1月のWindows 7のサポート終了等もあり、受注は大幅に増加しており、前四半期から継続して売上高、利益共に大幅に増加いたしました。

「Web」面では、複数ネットショップ一元管理ソフトである「CROSS MALL」について、新たなショッピングモールとの連携開発を当四半期も継続して取り組んでまいりました。今後も引き続き、複数モールとの連携機能強化を行うとともに、既存の顧客から機能面における要望を収集し、迅速に新機能として反映させることで、商品力を向上させ販売実績を伸ばしてまいります。また、ネットショップと実店舗のポイント・顧客一元管理ソフトである「CROSS POINT」につきましても、販売実績を伸ばしております。

当四半期連結累計期間においても、継続して製品の開発に注力しており、将来における新たな技術開発による市場競争力向上に向け、研究開発費29,809千円を計上しております。島根県松江市の研究開発拠点である「アイル松江ラボ」においては、プログラミング言語「Ruby」によるシステム強化の活動を本格的に始動しており、今後も研究開発人員を増加し、研究開発活動の強化を図ってまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高10,038,091千円(前年同期比37.0%増)、営業利益1,603,149千円(前年同期比152.2%増)、経常利益1,619,861千円(前年同期比147.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,046,484千円(前年同期比153.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて1,161,582千円増加し、7,807,963千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金212,767千円、商品130,093千円、ソフトウェア仮勘定142,323千円が減少した一方、現金及び預金1,110,732千円、ソフトウェア261,149千円等が増加したことによります。

また、負債合計は、前連結会計年度末と比べ442,260千円増加し、4,237,044千円となりました。これは主に、長期借入金161,632千円等が減少した一方、未払法人税等123,981千円、賞与引当金227,519千円等が増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて719,322千円増加し、3,570,918千円となりました。これは主に、剰余金の配当300,019千円等による減少があった一方、親会社株主に帰属する四半期純利益1,046,484千円等による増加があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年12月6日に公表しました「第2四半期(累計)及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

<新型コロナウイルスの感染拡大について>

新型コロナウイルスの感染拡大により、当社グループ業績に影響が生じる可能性があります。具体的には、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等により、商談の延期や対面による商談機会が減少していることから、個別の案件の受注及び検収確定の遅延や新規の受注案件に対する営業活動の制約等が想定されます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,356,953	2,467,686
受取手形及び売掛金	1,400,546	1,187,778
商品	412,280	282,187
仕掛品	1,173,927	1,102,352
その他	68,133	101,415
貸倒引当金	△2,068	△1,954
流動資産合計	4,409,773	5,139,464
固定資産		
有形固定資産	387,819	465,222
無形固定資産		
ソフトウェア	247,056	508,205
ソフトウェア仮勘定	663,554	521,230
その他	1,739	1,739
無形固定資産合計	912,350	1,031,175
投資その他の資産		
繰延税金資産	361,179	419,687
その他	576,766	755,598
貸倒引当金	△1,507	△3,184
投資その他の資産合計	936,437	1,172,101
固定資産合計	2,236,607	2,668,498
資産合計	6,646,381	7,807,963
負債の部		
流動負債		
買掛金	510,571	440,922
1年内返済予定の長期借入金	220,008	216,634
未払法人税等	346,732	470,714
賞与引当金	44,800	272,319
製品保証引当金	30,830	26,361
その他	1,182,452	1,337,644
流動負債合計	2,335,395	2,764,595
固定負債		
長期借入金	191,632	30,000
退職給付に係る負債	905,356	973,830
役員退職慰労引当金	254,368	297,440
資産除去債務	108,032	171,177
固定負債合計	1,459,389	1,472,448
負債合計	3,794,784	4,237,044

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,673	354,673
資本剰余金	319,673	319,673
利益剰余金	2,176,379	2,919,389
自己株式	—	△9,872
株主資本合計	2,850,727	3,583,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,354	△12,805
退職給付に係る調整累計額	4,223	△140
その他の包括利益累計額合計	869	△12,945
純資産合計	2,851,596	3,570,918
負債純資産合計	6,646,381	7,807,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
売上高	7,329,356	10,038,091
売上原価	4,216,827	5,536,207
売上総利益	3,112,528	4,501,884
販売費及び一般管理費	2,476,947	2,898,735
営業利益	635,581	1,603,149
営業外収益		
受取手数料	9,327	9,724
違約金収入	4,902	1,795
補助金収入	6,421	7,614
その他	824	1,044
営業外収益合計	21,475	20,178
営業外費用		
支払利息	2,725	1,968
支払手数料	—	1,497
その他	47	—
営業外費用合計	2,772	3,465
経常利益	654,284	1,619,861
特別利益		
固定資産売却益	805	—
特別利益合計	805	—
特別損失		
固定資産除却損	0	872
投資有価証券売却損	—	317
特別損失合計	0	1,189
税金等調整前四半期純利益	655,090	1,618,671
法人税、住民税及び事業税	312,934	628,770
法人税等調整額	△69,989	△56,583
法人税等合計	242,944	572,187
四半期純利益	412,145	1,046,484
親会社株主に帰属する四半期純利益	412,145	1,046,484

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	412,145	1,046,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,375	△9,451
退職給付に係る調整額	23,520	△4,363
その他の包括利益合計	24,895	△13,815
四半期包括利益	437,041	1,032,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,041	1,032,669
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式70,000株の取得を行い、自己株式が142,800千円増加しました。また、同日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として、当社グループの従業員に対して自己株式65,200株の処分を行いました。この処分により、利益剰余金が3,455千円、自己株式が133,008千円それぞれ減少しました。これらの結果等により、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が2,919,389千円、自己株式が9,872千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額62,254千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。なお、当該見積りの変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。